

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 咲福社会

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

令和 3 年度事業報告

事業の概要

【社会福祉事業】

1, 第一種社会福祉事業

なし

2, 第二種社会福祉事業

(イ) 就労継続支援 B 型事業「街なか作業所にっこにっこ倶楽部」

(ロ) 就労継続支援 B 型事業「にっこにっこファクトリー」

(ハ) 共同生活援助（グループホーム日和）「ホームかたくり」

【公益事業】

なし

【収益事業】

なし

にっこにっこファクトリーにおいて、令和 2 年度までは多機能型事業所（就労移行支援事業・就労継続支援 B 型事業）として運営していましたが、令和 3 年 3 月 31 日をもって就労移行支援事業を廃止したため、令和 3 年度から就労継続支援 B 型事業所として事業運営しています。

事業状況（総括）

コロナ禍、三回目の桜の花が見事に今年も咲きましたが、新年度になった現在も一向に収まる気配のない新型コロナウイルスによる影響は、今後もしばらく続きそうです。

この一年、感染拡大は抑えられたものの期間をあけて2人の利用者の感染が確認されるなど身近なところに迫る場合は、利用者及び職員にも休暇要請をするといった対応や、外出の自粛、行事の休止、そして世界情勢など多くの不安や閉塞感が増し当法人においても様々な影響を受けた一年となりました。

このような状況下、今後も厳しい社会環境が予想されますが社会福祉法人に求められている「福祉ニーズへのきめ細かい対応と既存制度で対応できない人々を支援する」という公益性と非営利性を備えて貢献する体制づくりを目指し、今後も利用者・地域に選ばれる法人として時代に即応した福祉サービスを実施していきたいと考えています。

そのためには、中期計画に基づき求められる新事業の展開や経営の安定化に取り組むと共に、今年度のテーマ「個人個人が持てる強みを活かす」を実践しウィズコロナの時代の中で利用者と職員が一丸となり挑戦することを忘れずに前向きに進んでいきたいと思いをします。

法人役員・評議員

【役員、評議員】（令和4年3月31日現在）

役員	定数	氏名
理事	6	松島肇（理事長）、星野一雄（会長）、板橋清一（副理事長） 塩崎玲子、関口裕、松島弘平
監事	2	小倉基、森口恒雄
評議員	7	湯浅正雄、今泉登志子、小倉秀明、櫻井隆志、安田節治 石原浩子、小倉一

理事会・評議員会開催状況

【理事会】

第12回（定足数：理事6/6、監事2/2）

- 令和3年6月29日(火)
- ① 令和2年度事業報告
 - ② 令和2年度収支報告、監査報告
 - ③ 定時評議員会の招集について
 - ④ 運転資金の借入について

第13回（定足数：理事6/6、監事2/2）

- 令和3年10月5日(火)
- ① みらいの福祉施設建設プロジェクト2021について

第14回（中止）コロナ感染防止のため

令和4年1月24日(月) 予定

第14回（書面）（定足数：理事6/6、監事2/2）

- 令和4年1月25日(火)
- ① 理事会の招集について
 - ② 業務管理体制整備規程（法令順守規定）制定について

第15回（書面）（定足数：理事6/6、監事2/2）

- 令和4年3月25日(金)
- ① 令和4年度事業計画について
 - ② 令和4年度収支予算について
 - ③ 独立行政法人福祉医療機構からの借入について

【評議員会】

第5回（定足数：評議員6/7、監事2/2）

- 令和3年7月20日(火)
- ① 令和2年度収支決算及び財産目録の承認について
 - ② 運転資金の借入について
 - ③ 定款変更について

内部監査結果

令和4年7月1日（金）に当法人の監事による令和3年度事業報告及び決算諸表の監査を実施しました

経営状況について

【法人全体の収支】前年対比 （詳細は別紙決算書の通り）

障害福祉サービス事業収入は 1,302,405 円増加の 89,473,943 円、就労支援事業収入は 682,756 円増加の 7,858,830 円となったが、経常増減差額は 2,496,141 円減少の -1,512,184 円となりました。

主な要因は、(1) 感染症拡大に伴い先が見通せない不安などから、利用率の低下による障害福祉事業収入が当初予算より 6,274,057 円減少した。また、感染症の影響による経済活動の落ち込みにより、就労支援事業収入も当初予算より 1,063,026 円減少し、事業活動収入全体において当初予算比 7,160,748 円の減少となった。(2) 当初予算比の全体収入が大幅な減少になり、人件費比率が前年比 1.8% 上昇した。(3) 事業費においても、水道光熱費やガソリン及び給食用の食材などの物価高もマイナス要因となっている。

令和 3 年度においては、コロナ感染予防対策及びコロナ感染拡大防止対策などコロナウイルス感染症に振り回され、すべてにおいて守りが中心の大変厳しい一年でした。

そのような中において、福祉を最前線で担っている職員の頑張りは大変心強いものがあり、今後の業容拡大と安定に必ずつながるものと確信しております。

【重点目標に対するの評価】 評価：できた○、だいたいできた△、できなかった×

年間計画	取り組み	評価
経営基盤の安定と確立	利用者と職員の主体性を引き出し、自立とやりがいのある事業所とする	△
	法人と各施設長とのミーティングを定期的で開催し、月次試算表・施設利用状況等の分析評価を行い、事業運営の効率化と法人経営の安定化に努める	△
生産活動の向上と工賃向上	自主事業を拡げる工夫と作業所、加工所、研修指導室などの見直しと整備	×
	施設整備は財源体質の充実を図りつつ助成金、補助金の申請と合わせ整備に努める	×
従来の枠組みや考え方にとらわれない地域福祉のイノベーションの追求	公的な財源に依存しない財源確保の推進と働きかけの実施	×
	社会的信用や事業の健全性を維持するため広報活動（ネットや冊子）を充実させる	○

【法人借入金償還状況】 ※元金のみ（単位：千円）

借入先	当初借入額	償還済額	当期返済額	借入残額	備考
桐生信用金庫	35,000	2,499	1,764	32,501	ホームかたくり
桐生信用金庫	10,000	278	278	9,722	運転資金
足利銀行	7,000	3,780	1,008	3,220	運転資金
足利銀行	32,741	3,870	2,580	28,871	ファクトリー
足利銀行	10,000	1,071	1,071	8,929	運転資金
合計	94,741	11,498	6,701	83,243	

(借入残高前年比-3,345)

職員の状況

【職員配置状況】（常勤換算による人員）（ ）兼務

	管理者・ サビ管	生活支援員	職業指導員	就労支援員	目標工賃達成 指導員	世話人	夜間支 援員	合 計
にっこにっこ倶楽部	1	1.6	4.6	0	1	0	0	8.2
多機能型ファクトリー	1	1.8	2.6	0	1	0	0	6.4
ホームかたくり	(1)	0.6	0	0	0	1.2	1.4	3.2
合計	2	4	7.2	0	2	1.2	1.4	17.8

【資格等の取得状況】（非常勤職員除く、複数の資格を持つ職員もいます）

	介護福祉士	社会福祉主事	介護職員初任者 (ヘルパー1・2)	保育士	福環コーディ ネーター2	福祉用具専門 相談員
にっこにっこ倶楽部	2	2	3	1	1	1
多機能型ファクトリー	2	2	4	0	0	0
ホームかたくり	0	0	0	0	0	0
合計	4	4	7	1	1	1

【1人当たりの年間収入額】（非常勤パート職員及び中途採用者除く）

職 責	人員	平均年齢	平均年収
常勤・非常勤理事	3 人	70 歳	3,370,741 円
施設長・サービス管理責任者	2 人	48 歳	4,511,429 円
主任	3 人	45 歳	3,474,019 円
職業指導員・生活支援員	6 人	52 歳	2,567,813 円

【人件費率】

71.7%

利用者の状況

【定員及び現員】（令和4年3月31日現在）

にっこにっこ倶楽部		にっこにっこファクトリー		ホームかたくり		合 計	
定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
25	30	20	25	6	6	51	61

【利用状況】

利用率（令和4年3月）

にっこにっこ倶楽部	にっこにっこファクトリー	ホームかたくり	合 計
101.2%(25.3人)	83.0%(16.6人)	96.6%(5.8人)	93.5%(47.7人)

年間利用状況

施設名	延べ利用者数	営業日数	1日平均利用者数	利用率
にっこにっこ倶楽部	6,531人	252日	25.9人	103.6%
カ ファクトリー	3,931人	252日	15.6人	78.0%
ホームかたくり	2,044人	365日	5.6人	93.3%
合 計	12,506人	—	—	—

【年齢別状況】

街なか作業所 にっこにっこ倶楽部（定員25名）

	17歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	合計	平均 年齢
男 性	11	4	3	3	1	2	0	24	32.8
女 性	3	0	0	1	2	0	0	6	37.8
総 数	14	4	3	4	3	2	0	30	33.8

にっこにっこファクトリー（定員 20 名）

	18 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男性	5	1	2	5	3	1	0	17	39.9
女性	4	0	1	3	0	0	0	8	31.6
総数	9	1	3	8	3	1	0	25	37.3

ホームかたくり（定員 6 名）

	18 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男性	0	1	2	1	2	0	0	6	45.2
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	0	1	2	1	2	0	0	6	45.2

行事報告(研修他)

【行事】

令和 3 年度の行事（レクレーション）については、前年度に続いて新型コロナウイルス感染症予防対策の一環としてほぼ行わなかった。

【研修】

1、職場内研修は年間予定の通り、時間を短縮するなどの対応を取り実施しました。

開催月	研修内容	開催月	研修内容
4 月	施設職員としての基本姿勢	10 月	インフルエンザ
5 月	感染症(新型コロナ、ノロウイルス等)	11 月	自閉症スペクトラム
6 月	精神疾患	12 月	ストレスマネジメント
7 月	業務のレベルアップ	1 月	発達障害
8 月	意思決定支援	2 月	障害者虐待防止
9 月	事故対応(ヒヤリハット)	3 月	権利擁護

※新規採用の職員及び準職員に対しては、随時、「障害者支援の基本姿勢」についての内部研修を実施しています。

2、外部研修はコロナ禍であり、ほとんどが Zoom 等のオンライン研修となっており、必要に応じた最小限の実施となりました。

開催月	主催	研修会名	参加者
9月	群馬県社会福祉協議会	なんでも福祉相談員基礎研修会	1名
9月	群馬県社会福祉協議会	令和3年度群馬県ふくし総合相談支援事業全体会議・相談員基礎研修会	1名
10月	群馬県	テレワークで広がる障がい者の働く選択肢	1名
11月	千葉県中小企業家同友会	経営研究集会	1名
11月	群馬県	テレワークで働きたい障がい者のための県内企業採用説明会	1名
1月	群馬県福祉マンパワーセンタ	令和3年度 理事・評議員・施設長研修	1名
2月	みどり市	元女子高生、パパになる（はじめてのLGBTQ）	1名
3月	みどり市障害者基幹相談センター	成年後見人制度の理解啓発	1名

各事業所の状況

【街なか作業所 につこにつこ倶楽部】

就労継続支援B型事業所 定員 25名

平成 25 年 12 月開所

令和3年度の4月から一年間の総利用者件数は6531件の実績となり、1か月の平均利用者数は25.9人で利用率は103.6%でした。

今年度も、昨年度同様、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた一年となりました。

下請け作業に関しては一時的に仕事が止まり、もらえないこともありましたが、長い間待つようなことはなく、数日後には再開といった状態で、完全にストップするようなことはありませんでした。

カフェに関しては外出を控えることの影響で展示スペースの活用がキャンセルになるなども含めて、客足は少ない状態が続いています。昼食の弁当を週2回から週3回に増やし、利用者の作業作りと安定した収入に繋げています。炊き込みご飯の素を中心とした乾燥品作りでは大口の注文があり、弁当作りと同時進行での作業で大変な面もありましたが、応えることが出来ました。

農作業は収入面でも大きく落ち込むことはありませんでしたが、夏の異常な暑さなど天

候には左右されて、苦勞するところはありません。

コロナ禍、二年目を迎え、マスク着用、除菌、手洗いの励行といった感染予防対策をしつかりと施し、通常に近い形での支援を行ってきました。昼食時は密状態を避けるため、3か所に分かれ、座席の間隔を空け、黙食を心がけて一番感染のリスクがある時間を工夫して過ごすようにしてきました。感染予防対策は施してきましたが、1/31と2/7に利用者自身と家族がコロナ陽性になる事案が発生しましたが、施設関係者は濃厚接触者とはならなかったため、保健所の指示に従い、慎重に行動し、自主的に出勤を控えたり、咳が気になる利用者を個別対応したりするなど感染拡大にならないよう努力したところ、2ケースとも感染が広がることはありませんでした。同時期に感染を恐れ、在宅で過ごすことを選択するケースも2件ありました。在宅支援という形で対応させていただきました。また、今年度も感染予防の観点からレクリエーション等行事の実施や参加は一年間、極力、控えることにしました。夕方のサークル活動は様子を見ながら、休んだり、マスク着用等感染対策を徹底して、実施したりしていました。

コロナ禍ではあっても、安心笑顔の実践などにつこにつこらしさは続けてきました。ただ、実際にはソーシャルディスタンスを意識していくと、コミュニケーション面では難しいこともあったりしました。外部との接触が困難になり、イベント等の交流もできないことで活発だった活動の自粛は残念なことでした。支援学校からの実習や利用希望者の見学等も控え、支援会議も書面、電話等による形を取り、控えることも続けました。来年度は以前のよう、そういった活動が再開できると、今以上の笑顔も生まれてくると思います。そうなることを願います。

【につこにつこファクトリー】

就労継続支援B型事業 定員 20名

平成30年7月開所

令和3年度に入り、利用者個々の状況変化、体調の変化、新型コロナウイルスへの不安、就職やステップアップなどそれぞれの事情により、利用者の減少や利用日数の減少が見られた。就労移行支援の廃止から就労継続支援B型事業所一本となり、事業所としての特色の定着にも時間がかかったことも理由として考えられた。

利用率の低下により、利用者平均工賃も低下が見られ、また軽作業の受注先からの受注量の減少もあった。

お店の方は受注先からの注文は継続していただき、売り上げ増強にもなっていた。また他店とのタイアップ商品も増え、好調な売れ行きを見せている。ただ生産ラインが追い付かず、今後、大きく売り出していくことが現時点では難しい状況になっており、今後の課題である。

3月になると、見学や体験の問い合わせがあり、利用開始となる方が複数件見られており、今後利用者増加が見込めている。

【ホームかたくり】

共同生活援助（グループホーム）

令和2年11月開所

令和3年4月からは定員6名のところ6名が入所し、満員状態で運営された。
詳細の利用状況は下記のとおりでした。

これからの課題のひとつとして、入居者で喫煙者が2名います。健康問題、金銭問題として禁煙の必要性をアドバイスしていますが、やめろと言うのは簡単であるが実際難しい問題です。また、1人共同生活を乱す利用者がいたが、令和4年4月1日をもって退所したので解決したが現在の入居者は5名となり定員6名に対して1名の減員となっています。

ホーム全体として入居者は平穏なグループホームの生活をしています。

利用状況

氏名\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	r4/1	2	3	合計	平均利用日
A	30	31	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91	
B	11	9	18	20	31	13	29	29	28	24	25	30	267	22.3
C	30	28	30	31	31	31	30	28	29	29	28	30	355	29.6
D	30	28	30	31	31	31	30	29	29	29	28	28	354	29.5
E	30	28	30	30	30	31	30	29	29	29	28	30	354	29.5
F	30	30	30	26	31	30	30	30	29	29	28	30	353	29.4
G	0	0	0	27	31	31	31	30	30	31	28	31	270	22.5
合計	161	154	168	165	185	167	180	175	174	171	165	179	2,044	
開業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
平均利用人数	5.4	5.0	5.6	5.3	6.0	5.6	5.8	5.8	5.6	5.5	5.9	5.8	5.60	